

近畿地域^{*}における麦生産をめぐる状況



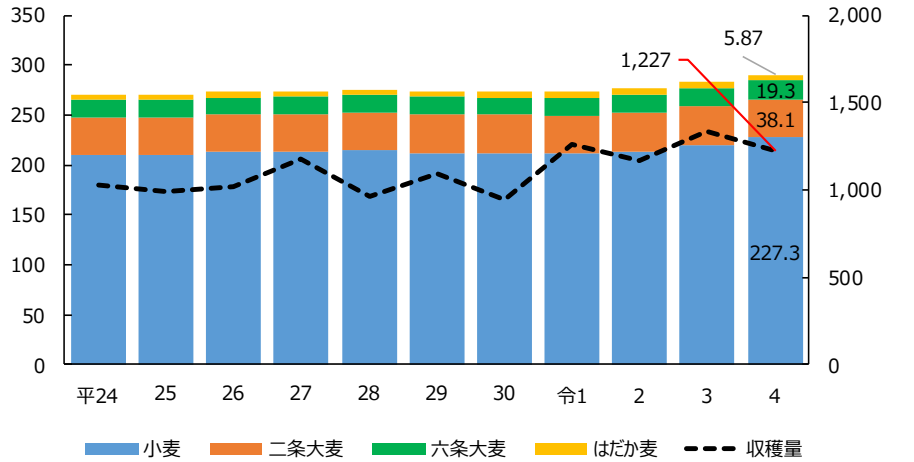
令和5年12月
近畿農政局 生産部 生産振興課

※本資料においては、「近畿」は、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県を指します。

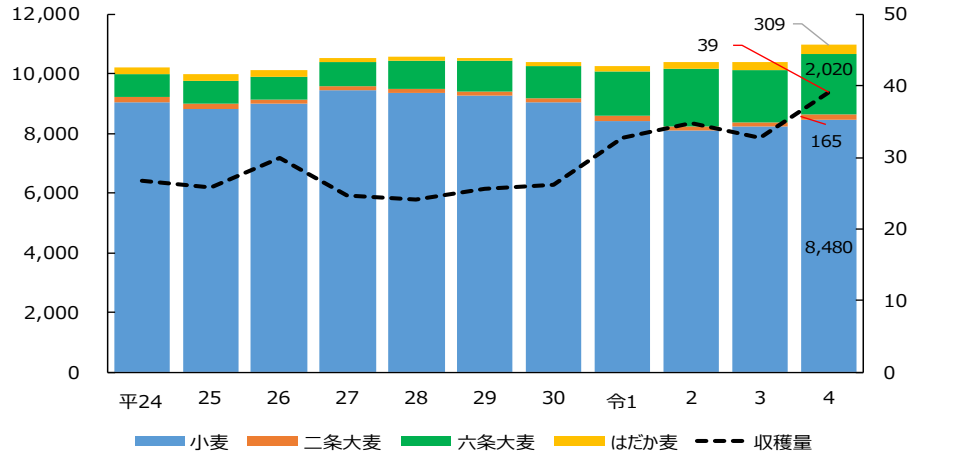
近畿地域における4麦の作付面積・収穫量

4麦の作付面積は、全国、近畿とも、横ばいで推移していましたが、近年微増傾向にあります。近畿の令和4年産の作付面積は11,000ha（小麦：8,480ha、二条大麦：165ha、六条大麦：2,020ha、はだか麦：309ha）で、全国の4%となっています。令和4年産の近畿の4麦の収穫量は39,000トンで、全国の3%となっています。

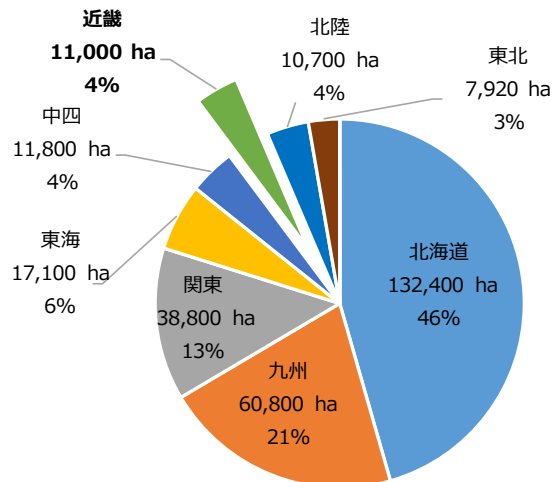
(千ha) 4麦の作付面積及び収穫量の推移（全国） (千トン)



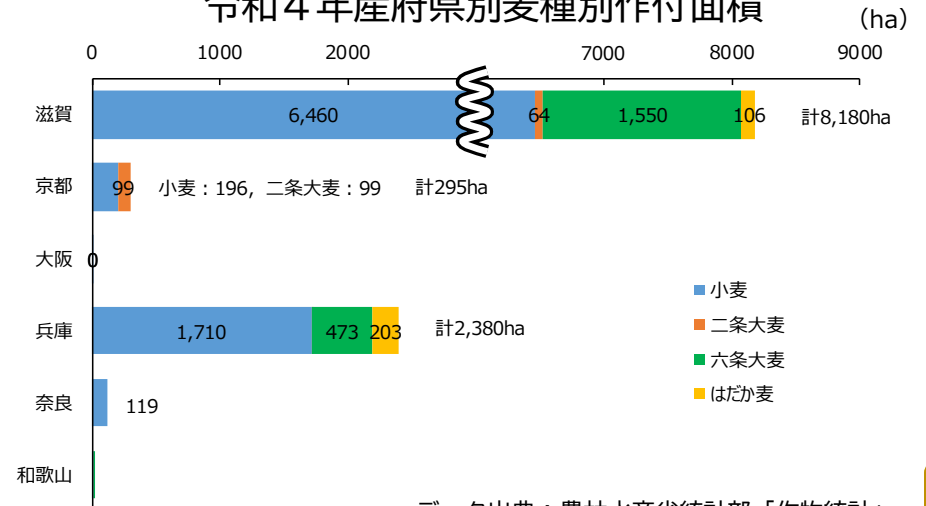
(ha) 4麦の作付面積及び収穫量の推移（近畿） (千トン)



令和4年産4麦の作付面積割合



令和4年産府県別麦種別作付面積



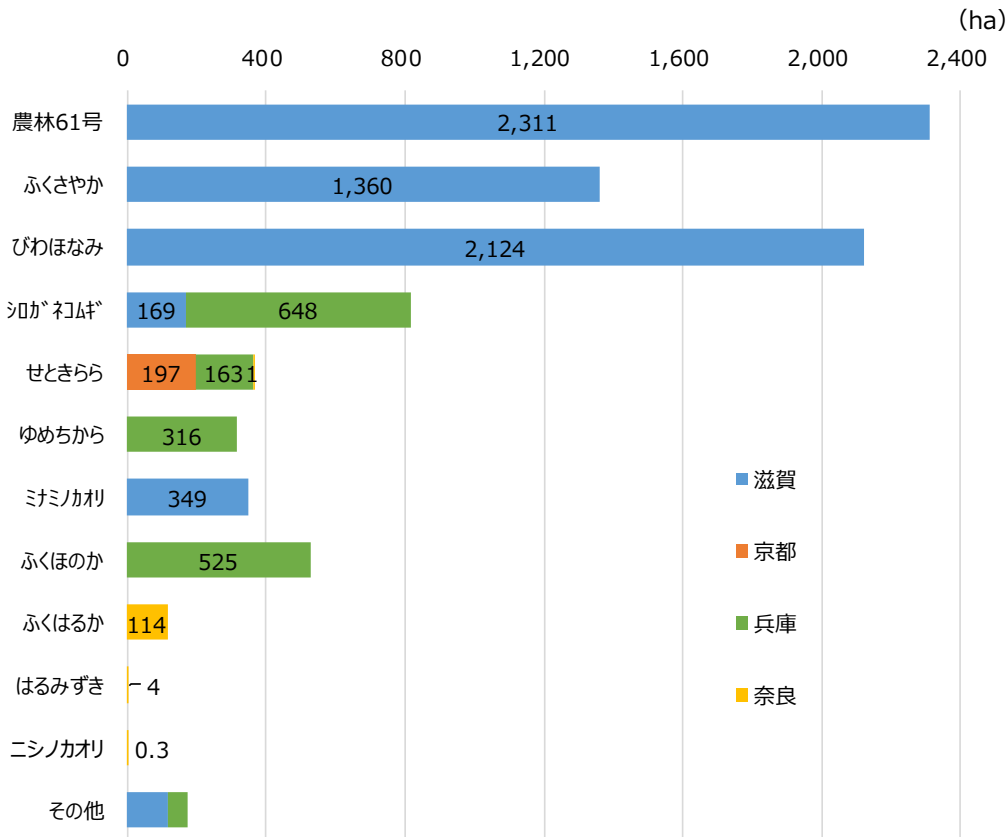
データ出典：農林水産省統計部「作物統計」

近畿地域における小麦の品種別作付状況

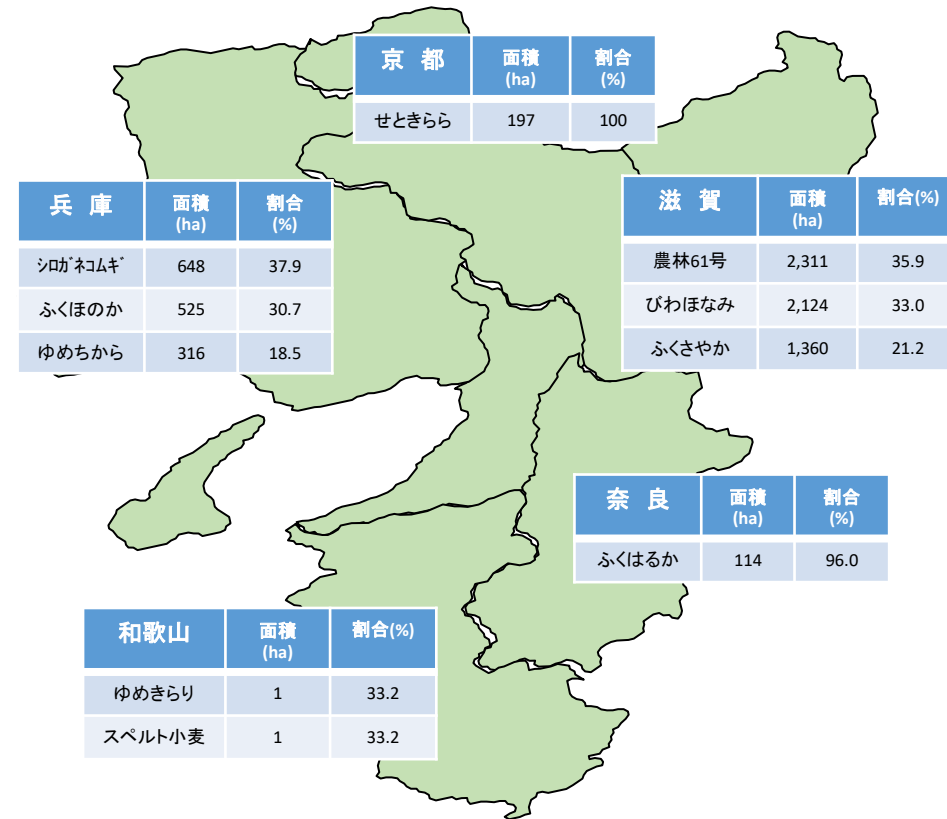
令和4年産の小麦を品種別にみると、「農林61号」が2,311ha、「ふくさやか」が1,360ha、「びわほなみ」が2,124ha、「シロガネコムギ」が817haと、この4品種で8割を占めています。

滋賀県では、「農林61号」から「びわほなみ」への転換を進めており、令和4年産「びわほなみ」の作付面積は、2,124haとなっています（「びわほなみ」県内シェア：0.1%（H30年産）→33%（R4年産））。

令和4年産 品種別・府県別の小麦の作付面積

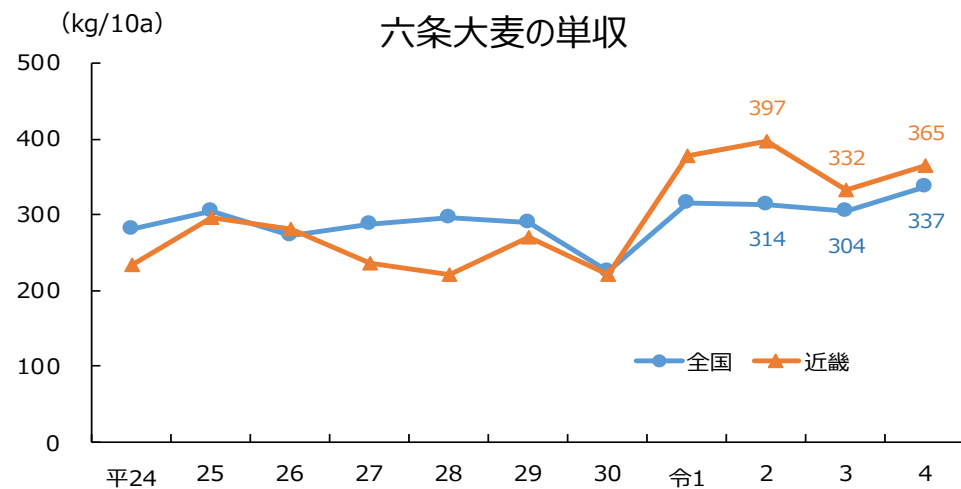
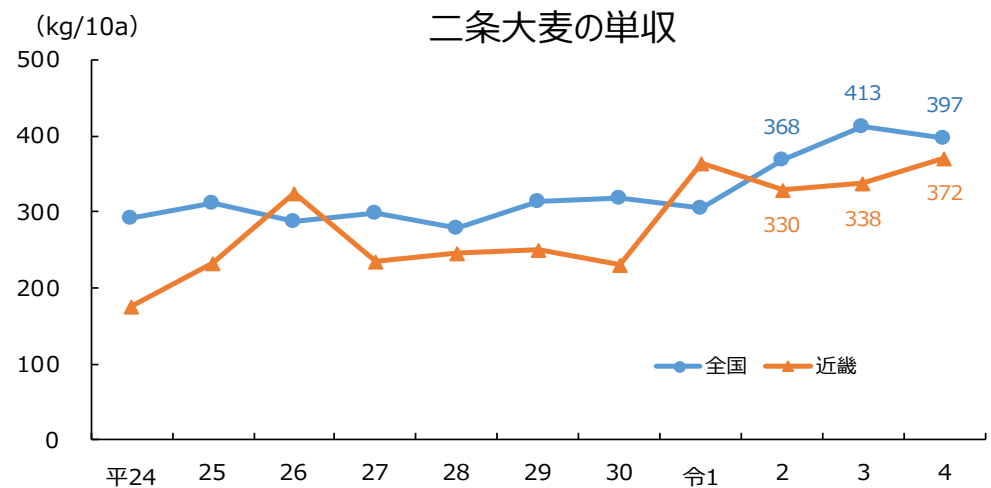
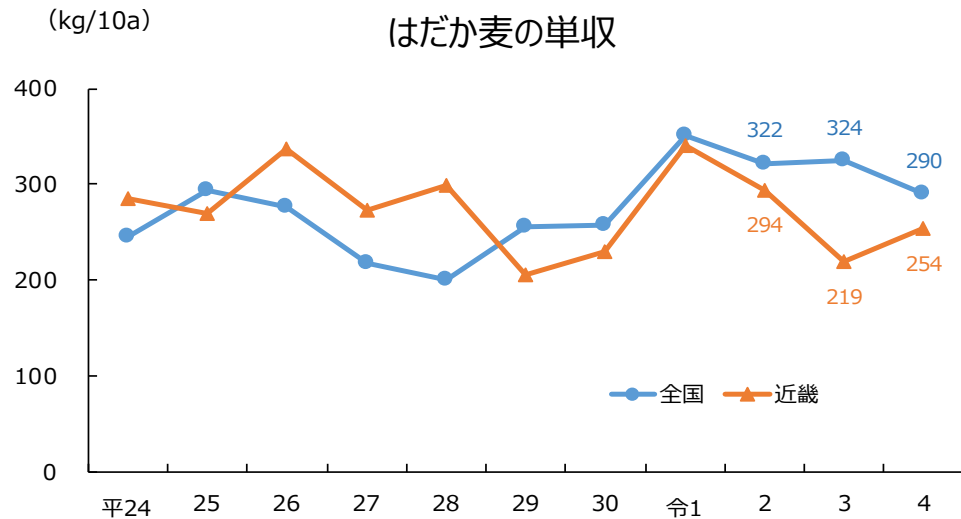
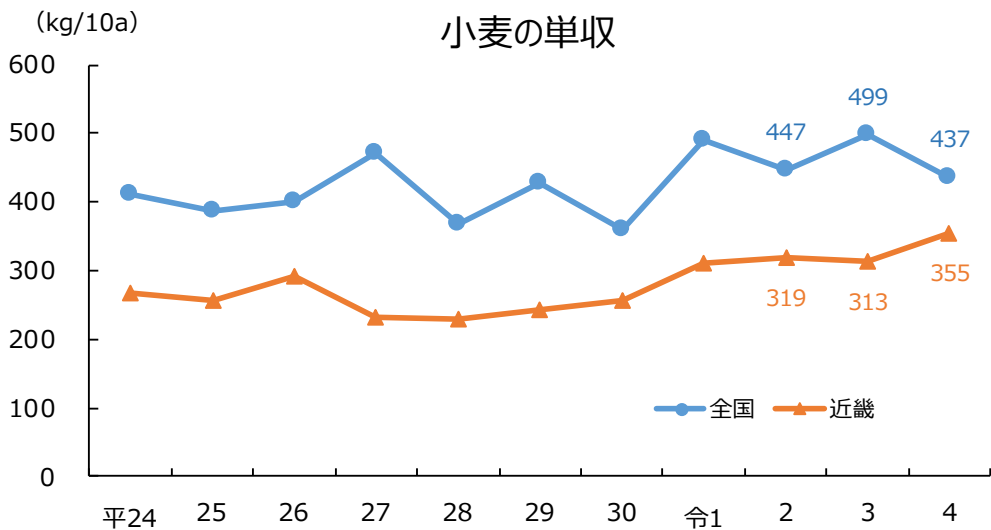


令和4年産 小麦の主要品種の作付割合(近畿地域)



近畿地域における4麦の単収の推移

令和4年産の近畿の麦の単収は、小麦355kg/10a、二条大麦372kg/10a、はだか麦254kg/10a、六条大麦365kg/10aで、六条大麦は、全国（337kg/10a）より高くなっています。



近畿地域における小麦の1等比率の推移

麦の品質は天候の影響を受けやすく、1等比率は年産によって大きく変動しています。
令和4年産の近畿の小麦の1等比率は78.6%となっており、一部地域で凍霜害による品質低下が見られた令和3年産に比べて向上しました。

小麦の1等比率の推移

